

節電意識を高め売電アップにつながります!

HEMS 電力見える化システム

電力見える化システムって手軽に使えてこんなに凄い!!

Q 家の中のどんな機器が電気のムダ使いをしているかわかりますか?

A 見やすい機器毎のデータを表示するので
コマメにムダをチェックできます。

基本セットではタップは5個。最大30個まで増設可能です。



だから
ご家族の節電意識を高めて売電量もアップ!



タップ式で設置が簡単※
配線工事不要

ムリなくかしこく
節電をサポート

薄型・軽量・使いやすい
専用タブレット

※接続機器等の初期設定が必要です。無線LAN
対応のブロードバンドルーターが必要です。

わが家の電気のムダ使いが
カンタンにチェックできるわね!

JH-RTP1

専用タブレット端末+中継器+
タップ5個(AC100V/15A×3個、
AC100V/20A×1個、
AC200V/20A×1個)

JH-RTP2

専用タブレット端末+
中継器+タップ5個
(AC100V/15A)



Q 「電力見える化システム」の設置は?

A 面倒な設置工事は不要です ※1 ※2。
お使いの電気製品のタップをコンセントに
差し込むだけでOKです。

さらに 「電力見える化システム」と住宅用流量データ送信器を
組み合わせると、おうちのエネルギー(電気・ガス・水道)
を一元的に管理できます。



今日からカンタンに
みんなで使えるわ!



※1 無線LAN対応のブロードバンドルーターが別途必要です。
※2 接続機器などの初期設定が必要です。

Q 購入する場合、補助金は利用できますか?

A シャープ製太陽光発電システム等との
セット使用で補助金が利用できます。

補助金対象

エネルギー管理システム導入促進事業費補助金(HEMS導入事業)

●受付機関:一般社団法人 環境共創イニシアチブ
(SII:Sustainable open Innovation Initiative)

●補助金の受給には、シャープ製太陽光発電システムまたは単回路CTセンサユニット、もしくは多回路CTセンサユニット・JH-AS31用CTセンサ(主幹用)とセットでのご使用が条件となります。

※対応するカラー電力モニタはJH-RWL2/L3、マルチエネルギーモニタはJH-RWL4/L5です。
(その他リモコンをご使用中のお客様は、多回路CTセンサユニットが必要です。)

詳細はSIIホームページ(<http://sii.or.jp/hems/>)をご確認ください。



会場では
「電力見える化システム」
を体験いただけます。
ぜひ、実際に使って
実感ください!

■ご案内いたしますのは……

**太陽光発電システムと
蓄電池/電力見える化システムをセットで
導入されることをおすすめします!**

お見積りはお気軽にご相談ください!

太陽光発電システムを
ご検討の方はセットで...
すでに設置いただいで
いる方には追加で...

安心感が違います!!

リチウムイオン蓄電池システム

もしものの時の備えと普段の節電にも!

太陽光発電と
連携できる



マルチエネルギーモニター



蓄電池パワーコンディショナ リチウムイオン蓄電池本体

4.8kW JH-WB1201 オープン価格

2.4kW JH-WB1202 オープン価格

停電時のバックアップ電源として活躍します。

太陽光発電と蓄電池で
暮らしに余裕が
生まれるわ!



各機器同時での使用時間の目安

蓄電池残量 4.8kWh の場合

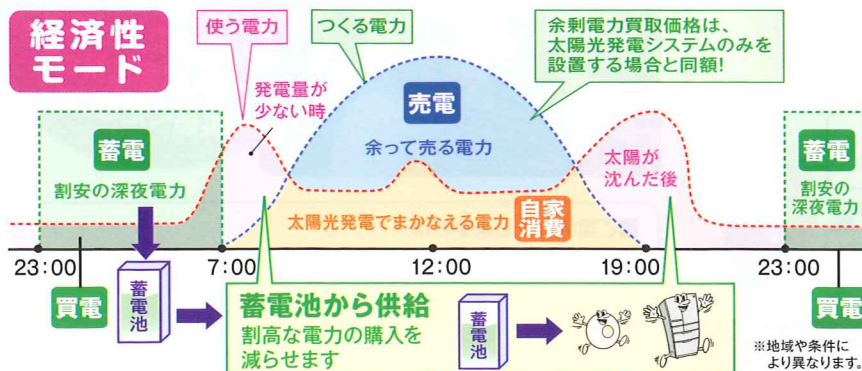
ノートパソコン	テレビ(40型)	電話機	照明(LED)	冷蔵庫
6時間	4時間	6時間	12時間	72時間

●停電時に使用できる機器は、あらかじめ専用配線（専用コンセント）に接続しておく必要があります。●停電時に使用できる機器の動作時間については、各製品のカatalog値などを基に計算したものであり、動作を保証するものではありません。特に周囲温度によって消費電力が変わる機器（冷蔵庫など）では、使用可能時間が短くなる場合があります。モーターで動作する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器は使用できない場合があります。また、同時に使用できる機器は、各機器の消費電力の合計が最大約400Wが目安となりますが、各機器の仕様や使用状況などによって異なり、これ以下でも動作しない場合があります。

蓄電池の疑問にズバリお答えします!

Q 蓄電池システムがあると、どうして節電できるのですか?

A 夜間の割安な電力を蓄電。また蓄電した電力は、発電量が足りない時間帯や雨天時に使用できるので、割高な電力の購入を抑えることができます。(経済性モードの場合)



※本システムは商用電源と連系しているため、家電製品のご使用状況によっては蓄電池から家電製品への供給電力が減少し、買電が必要となる場合があります。また、売電中など0.1kW以上の電力を購入していない場合は、蓄電池から電力は供給されません。本システムは余剰電力の売電中は蓄電池から電力供給しないため、電力の買取価格は太陽光発電システムのみ設置している場合と同様の単価が適用されます。

Q 太陽光発電でつくった電気は蓄電できますか?

A 昼間発電して余った電力を蓄電し、発電量が足りない朝夕の時間帯などに使用できます。(クリーンモードの場合)



Q 購入する場合、補助金は利用できますか?

A 最大1/3の補助金が利用できます。

補助金対象

定置用リチウムイオン蓄電池導入促進対策事業費補助金

- 補助率: 定率1/3 (上限あり)
- 受付機関: 一般社団法人 環境共創イニシアチブ (SII: Sustainable open Innovation Initiative)
- 補助金額: 個人(個人事業主含む)の場合、補助金の上限を100万円とし、その範囲内で機器費の1/3を補助。(2013年3月25日現在)
詳細はSIIホームページ(http://sii.or.jp/lithium_ion/)をご確認ください。

詳しくはフェア会場でご覧ください!